

第五十六回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速)第十九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
地方鐵道法中改正法律案(政府提出)
軌道法中改正法律案(政府提出)
非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)
鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年三月十一日(月曜日)午前十時
五十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 若宮 貞夫君

理事 熊谷 巖君

理事 田中千代松君

佐竹直太郎君 豐田 収君

上條 信君 小山 寛藏君

横山金太郎君 木曾三四郎君

神部 爲藏君 工藤 鐵男君

井上 剛一君 清水徳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道參與官 志賀和多利君

鐵道省建設局長男爵 中村 謙一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

鐵道書記官 細野 躋君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道法中改正法律案(政府提出)

軌道法中改正法律案(政府提出)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)

○若宮委員長 開會致シマス、井上君

○井上委員 私人岡本君ノ都合ニ依リ

マシテ、前回ニ突如トシテ更迭サレマ

シテ、委員ノ後任者ニナリマシタ、隨テ

前ノ委員諸君カラ私ガ後段伺ハント欲

スル所ノモノヲ既ニ伺ヒ濟ニナツテ居

ル問題モアラウカト思フノデアリマ

ス、併ナガラソレハ私ガマダ聽取致サ

ザル故ヲ以テ、或ハ質問ヲ重ネルヤウ

ナ場合ガアルカモ存ジマセヌガ、ソレ

ハ豫メ御諒承置キラ乞ヒタイ、サウシ

テ私ノ伺ハントスル所ハ極メテ簡單デ

アリマス、政府ニ於キマシテモ率直ニ

御答辯ヲ願ヒマス、先以テ私ノ伺ヒタ

イト思ヒマスルノハ、例ノ鐵道法附屬

ノ別表ニ明示サレテアリマス所ノ、政

府ノ豫定線路ノ一部タル所謂遠信鐵道

線、是ハ申スマデモナク濱松ヲ起點ト

シテ濱松ヨリ信州飯田ヲ經テ辰野ニ至

ル百一哩ノ豫定線、而シテ此線路ハ鐵

道網圖ニモ表示致シテアリマスガ、此

豫定線ハ何レモ國家ノ産業ヲ開發シ、

又交通ヲ整備シ、國防ノ上ニ於テ最モ

必要ナル路線ヲ網羅サレテ居リマスケ

レドモ、就中此遠州ト中央日本ヲ結付

ケル所ノ遠信豫定線ハ、鐵道法附屬ノ

別表ニアリマス所ノ路線中、最モ重要

ナル線路デアルト思フノデアリマス、

其次第ハ私ヨリ申上ゲルマデモナク、

此場所ハ殆ド斧鉞未ダ這入ラザル所ノ

森林帶ヲ有シテ居ル、隨テ之ヲ搬出ス

ルニ從前ハ唯天龍川ノ舟筏ニ依テノミ

之ヲ下ヘ下ゲテ、サウシテ東海道ノ鐵

道ニ依テ東西ニ輸送シテ居ッタ譯デア

リマス、而モ又信州ニ這入リマスト花

崗石ハ無限デアリマシテ、之ヲ切出ス

コトニ依テ建築ノ材料トナリ、及其他

諸般ノ土木工事ニ對スル重要ナル基礎

物資ヲ搬出スルコトガ出來ルト云フ譯

デアリマシテ、或ハ建設ニ關スル工事

費ハ多額ヲ要スルカハ存ジマセヌガ、

將來ニ於テ採算上最モ有利ナル豫定線

デアルト云フコトハ、今更申上ゲルマ

デモナイコトデアアル、之ニ因テ其沿道

地方ノ産業ノ開發ハ殆ド説明ヲ要セズ

シテ明ナル點デアリマスル、ノミナラ

ズ此東海道筋ト中央日本トノ間ノ交通

ト云フモノハ、頗ル不便ヲ感ジテ居ル

譯デアリマス、先以テ中央線カラ見マ

スルナラバ、名古屋ト信州ノ間ハ結付

イテ居リマスケレドモ、遠州若ハ駿州

方面ニ於テ結付ク主要線路トシテハ、

ドウシテモ此遠信線ニ俟タナケレバナ

ラス、殊ニ此豫定線ヲ計畫セラレマシ

タ當時ニ於テハ、濱松ニハ六十七聯隊

ト云フ步兵聯隊ヲ有シ、且ツ濱松カラ

西即チ舞坂及新居間ト云フモノハ、今

日ハ既ニ國道ノ修築ニ着手致シテ居リ

マスケレドモ、其當時ト云フモノハ鐵

道ノ輸送ガ不可能ニナツタ場合ニ於テ

ハ、船ニ依テ之ヲ輸送シナケレバナラ

スト云フヤウナ難場所デアアル、隨テ國

防上、此濱松ト信州トヲ結付ケルト云

フコトハ、非常ナル問題トシテ計畫サ

レテアルコトハ、是亦當時ノ政府ノ意

嚮ニ徴シテモ、今日否定スベキ何等ノ

理由ヲ有セナイ、殊ニ昨今ニ至リマシ

テハ、濱松ニハ第七飛行聯隊ガ新設セ

ラレ、重砲隊第一聯隊ガ又設置セラレ

マシテ、重要ナル、國防ノ上ニ於テ、中

央日本ト結付ケルト云フコトハ最モ必

要ナル點デアリマス、デ要スルニ國防

ノ上ニ於テ、又産業開發ノ上ニ於テ、而

シテ交通機關ノ整備ニ於テ、須臾此線

ニ俟タナケレバナラヌト云フ重要ナル

豫定線デアアルニ拘ラズ、之ヲ政府ガ拋

棄セラレマシテ、私設會社ニ此線路ヲ

讓ツタト云フ根據ハ何處ニアルカト云

フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、之ニ

付テノ御答辯ノ前ニ、一應御注意申上

ゲテ置クコトハ、前回工藤君ノ質問ニ

對シテ、小川鐵道大臣ハ、一體一旦決メ

タモノヲ飽迄モ固執スルト云フコトハ

是ハ官僚式デハナイカ、今日私設鐵道

ニ豫定線ヲ讓ルト云フコトモ、是ハ時

代順應デアツテ、サウ云フ官僚式ノコト

ハ之ヲ好マヌト云フヤウナ御答辯モア

ツタ、成程一面ニ於テ一旦決メタモノ

ヲ飽迄ソレヲ牢固トシテ固守スルト云

フコトハ、

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄

第十九回

昭和四年三月十一日

第五類第十號

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄

第十九回

昭和四年三月十一日

第五類第十號

フコトハ、或ハ官僚的ノ行爲デアルカ
モ存ジマセヌケレドモ、私ノ知ル限リ
ニ於テ、私ノ調査シタ上ニ於キマシテ
ハ、是等ノ豫定線ハ私設會社ニ於テ果
シテ完成シ得ラレルカ否カト云フコト
ニ付テハ、餘程疑ノ中ニ彷徨ッテ居ル、
隨テ國家ノ事業トシテ經營スルト云フ
コトガ、最モ其完成ニ向ッテ力ノ強イモ
ノガアルト云フコトヲ認メナケレバナ
ラヌト思フ、然ルニソレヲ差置イテ之
ヲ拋棄シ、私設會社ニ許スト云フコト
ハ如何ナル根據ニ基クカト云フコトニ
付テ、率直ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○志賀政府委員 井上君ノ御尋ノ、濱
松ヨリ辰野ニ至リマスル線路ハ、豫定
線デアリマシテ、政府モ敷設ノ必要ヲ
認メテ、即チ敷設法ニ掲ゲテアルノデ
アリマスガ、サウ致シマシテ此方面ニ
於キマシテ、掛川ヨリ佐久間ニ達シマ
スル線路ハ、既ニ豫算ガ成立致シテ居
ルノデアリマス、政府モ此東海道本線
ト此線路ヲ成ベク急速ニ着手シタイト
考ヘマシテ、今回ノ計畫ニハ着手年度
ヲ一年繰上ゲタ程デアアルノデアリマ
ス、併ナガラ財政上ノ都合並諸般ノ鐵
道分布ノ狀態ニ鑑ミマシテ、政府トシ
テハ佐久間天龍峽ノ間ト云フモノハ、
マダ急ニ着手スル運ニ至リマセヌ、然
ルニ偶地方ノ有力ナル人々ガ此區間
ヲ私設會社ノ手ニ於テヤラウ、其計畫
ガ極メテ有望デアッテ、又實行ガ可能デ
アルコトヲ認メマシタ爲ニ、政府デ今

着手スルコトガ出來ナイトナリマシタ
以上ハ、地方ノ爲ニ一日タリトモ早ク
此交通ヲ開クコトガ適當デアラウト考
ヘマシテ、茲ニ三信鐵道會社ニ此區間
ヲ許シタノデアリマス、御承知ノ通り
辰野ヨリ天龍峽ノ間ハ私設鐵道會社ニ
許シマシテ、現ニ交通ヲ開イテ居リ、又
濱松ヨリ二俣マデハ矢張私設鐵道ガ
接續スル關係ニナッテ居リマス、更ニ
佐久間ヨリ天龍峽ニ至ル間ガ出來マス
ト、井上君ノ御希望ノ如ク地方産業ノ開
發ニ資スルコト最モ甚大デアルト考ヘ
マシテ、之ヲ許スコトニ致シタ次第デ
アリマス、要ハ政府ノ手ニ於テハ豫算
其他ノ關係上急速ニ着手スル能ハザ
ル場合ニ於テ、偶此會社ノ實行可能ナ
リト認ムベキモノガ出願ヲ致シマシタ
カラ免許ヲシタト云フノデ、是ガ却テ
地方ノ爲ニ幸ヒスルモノデアラウカト
信ジテ此處置ヲ執ッタ次第デアリマス、
ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○井上委員 只今ノ御答辯ニ依レバ、
此遠信線ガ早急ニ着手スルノ見込ガナ
イカラ私設會社ニ許シテ、サウシテ産
業開發其他ノ利便ニ供スルガ最モ適當
ナリトシテ許シタノデアアル、斯ウ云フ
御答辯ノヤウニ承リマシタ、政府ハ是
等ノ極メテ有望ナル豫定線ニ對シテ着
手スル準備ガナイト云フコトハ、結局
豫算即チ金ト云フモノニ起因スルノデ
アリマセウガ、一體是等ノ南日本ト北
日本トヲ結付ケル所ノ重要ナル豫定線

ヲ、速ニ着手スル意思ガナイナド、云
フノハ、私一寸受取り惡イト思フ、本年
ノ先頃御提出ニナリマシタ十四線路ノ
私設鐵道ノ買収、之ニ要シマスル所ノ
買上費用ガ五千萬圓計上サレテ居ル、
是ダケノ政府ノ御懷ロガ裕福デアルナ
ラバ、此遠信鐵道ニ着手出來ナイト云
フ程ニ窮屈ナル財政狀態デアアルマイ
ト思フノデアリマス、然ルニ此十四線
ノ買上ハ、公益上必要デモアリマセウ
ガ、又黨利黨略モ含ンデ居ル事情モア
リマセウ、而シテ一方遠信鐵道ノ如キ
モノハ、ドノ見地カラ——之ヲ國防ノ
上ニ鑑ミ、之ヲ交通ノ上カラ研究シ、並
産業開發ノ上カラ、國家ノ富ヲ増進ス
ル點ニ着眼致シマシテモ、此十四線ノ
私設會社ヲ買上ゲルト云フコトヨリ
モ、尙ヨリ以上ニ公益上急ヲ要スルモ
ノデアアルマイカト思フノデアリマ
ス、然ラバ是等ノ費用ヲ、此有望ナル主
要地點ノ鐵道建設ヲスル上ニ於テ、客
ナラザルコトヲ私ハ希望シテ已マスノ
デアリマスガ、之ニ對シマシテ政府ハ

ドウ云フ御處置ヲ執ルコトヲ以テ、國
家ノ利益ヲ増進スル所以ノ途デアルカ
ト云フ、基礎的御意見ヲ承リタイト思
フ
○志賀政府委員 五千萬圓ノ交付公債
ヲ發行スル程ナラバ、斯様ナ有望ナル
鐵道ハ其方デモ支辨ガ出來ルデヤナイ
カト云フ御説デアリマスガ、是ハ交付
公債ハ御承知ノ通り即チ買収ノ時發行

致スモノガ交付公債トナルノデアリマ
ス、私設會社ノ株券ニ代ルヤウナ性質
ヲ有ッテ居ルノデアリマシテ、此交付公
債デハ直ニ建設ノ費用ニ相成リマセ
ヌ、ソレデ建設ノ費用ハ御承知ノ通り
八千萬圓程公債ヲ募集シテ、成ベク地
方地方ニ於テ必要ナル路線ヲ選定致シ
マシテ、緩急順序ヲ慮リマシテ建設ニ
着手シタイト考ヘテ、案ヲ提出致シマ
シタルコトハ御承知ノ通りナノデアリ
マス、然ルニ御説ノ遠信鐵道ハ其中ニ
ハ這入ッテ居リマセヌ、唯從來ノ掛川、
佐久間ノ工事著手年度ヲ繰上ゲタコト
ハ先ニ申シタ通りデアリマス、其以外
ニ付キマシテハ、財政ノ都合ノミデハ
アリマセヌ、地方ニ鐵道ヲ分布スル狀
態ニ於テモ、又色々經濟上ノ地方ニ及
ボス影響等ヲ考慮シテ、建設線路ハ決
メタ次第ナノデアリマス、不幸ニシテ
井上君御希望ノ此線路ハ漏レタト云
フノデアリマス、偶左様ナ場合ニ於テ
地方ノ爲ニ交通ヲ開キタイト云フノ
デ、會社ヨリ出願ガアリマシタカラシ
テ之ヲ許シタ、許シマスレバ實行致サ
レル曉ニ於テハ、此地方ノ交通ハ爲ニ
完成ヲ致シマシテ、井上君御希望ノ如
ク産業ノ開發ニモ十分ナル利便ヲ與ヘ
ルコト、信ジテ居ル、左様ナ狀態デア
リマシテ、出來ルダケ政府財政ノ都合
ニ於テ建設ノ公債ト云フモノハ八千萬
圓ト確定致シマシテ、其確定致シマシ
タル八千萬圓ノ金ハ皆既ニ豫算デ御協

賛ヲ得マシタ通りニ分配ヲシタノデア
リマスカラ、此線路ニハ使フコトガ出
來ナイ、井上君ノ言ハレマスル通り、單
リ遠信鐵道ノミナラズ、各地方ニ於テ
色々ナル御希望ガアルノデアリマス、
即チ地方々々ニ依テ此線路ヲ是非早ク
ヤラナケレバイケナイト云フ御議論
モ、屢此委員會ノ席上ニ於テモ承ッタ
ノデアリマス、併ナガラ政府ト致シマ
シテ成ベク緩急順序ヲ公平ニ考ヘマシ
テ、サウシテ現ニ豫算ニ計上致シマシ
タル線路ガ適當デアリト信ジテ、豫算
ヲ按配シタ次第ナノデアリマスルカラ
シテ、偶井上君御希望ノ線路ガ漏レ
マシタコトハ遺憾デアリマスルガ、併
ナガラ此私設會社ニ免許ヲ致シマシタ
ル結果、之ガ完成致スコトニ相成リマ
スレバ、寧ロ國有鐵道トシテ建設致シ
マスヨリハ、完成年度モ速ニ相成ルデ
アラウト考ヘルノデアリマス、左様致
シマスルト云フト此地方ノ交通ハ毫末
モ不便ヲ感ズルコトナク、否却テ或場
合ニ於テハ完成ノ早イト云フコトハ、
國有鐵道ヲ敷設スルヨリモ早イデハナ
イカト考ヘテ居ル次第デアリマス、左
様ナ狀態デアリマスカラシテ、此線路
ニ付テ特段ニ是ガイカスカラ後ニ廻シ
タノダト云フ理由ハナイノデアリマ
ス、一般ノ狀態ヨリ推シマシテ、此線路
ガ遅レルコトニ相成ル——遅レルコト
ニ相成ッタ場合ニ於テ私設會社ガ建設
ヲスルト云フノデアリマスカラ之ヲ許

シタ、斯ウ云フダケノコトデアリマシ
テ、各地方ノ希望ヲ全部滿シマスニハ、
八千萬圓ノ建設公債財源デハ洵ニ振
切レナイノデアリマス、左様ナ狀況
ハ篤ト御諒察ヲ仰ギタイノデアリマ
ス

○井上委員 最初此遠信鐵道豫定線ヲ
政府ガ計畫サレマストキニハ、無論飯
田及辰野間ノ伊那電車ヲ買收スル見込
ヲ以テ百幾萬圓カニ計算サレタノデア
ラウト思ヒマスガ、當時ハ伊那電車ハ
辰野、飯田間ダケデアリマシタモノガ、
其後飯田驛カラ更ニ飯田附近ノ下俣マ
デ參ッテ、下俣カラ更ニ南進シテサウシ
テ天龍峽マデ伊那電車ニ敷設權ヲ御許
シニナッタ、ソコデ今日殘ッテ居ルノハ
二俣カラ佐久間マデノ間、是ハ政府ノ
建設線トシテ計畫サレテ居ル、然ラバ
殘ッテ居ル所ハ佐久間カラ天龍峽マデ、
即チ三十三哩ダケガ殘ッテ居ルノデア
リマス、此三十三哩ノ計畫ヲ爲サレバ
信州辰野ニ至ッテ、サウシテ中央線ニ結
ブコトガ出來ル、僅カ三十三哩ノ工事
ヲ拋棄シテ、サウシテ之ヲ私設會社ニ
許シタト云フコトガ餘リニドウモ政府
ノ——甚ダ言葉ガ惡イカハ存ジマセヌ
ガ、官權過ギハセヌカト思ヒマス、尤モ
只今參與官ノ御説明ニ依ル遠美線即チ
掛川ヨリ美濃ノ大井ニ至ル所ノ此遠
美線竝ニ二俣カラ佐久間マデ至ル、所謂
遠信鐵道ノ一部、是ノ遠美線ノ事業完
成年度ノ一年繰上ゲ、又遠信線ノ着手

年度ノ一年繰上ゲ、是ハ大ニ地方民ノ
喜ブ所デ満足スル所デアリマスケレド
モ、併シ是等ハ掛川カラ二俣マデノ間
ハ彼是十哩弱ト心得マスガ、ソレヲヤ
テ、サウシテ彼處ヲ打切ッテシマッテ居
ル、サウスルト掛川カラ森町ヲ經テサ
ウシテ二俣ニ至ル間ニハ高イ建設費ヲ
掛ケテ、ドレダケ運搬スル物資ガアル
カト云フコトハ、鐵道省ガ能ク御調べ
デアリマセウ、私共ノ眼カラ見レバ椎
茸位ノモノダト思フ、ソレニハ東海道
ノ袋井驛カラシテ森ニ通ズル所ノ電車
ガアリマス、又掛川ト森トノ間ニ於テ
ハ貨物自動車其他ノ自動車ガ定期ニ通
ツテ居ルト云フノデ、殆ド其運搬ニ困
ラナイト思ヒマス、其處ヘ以テ來テ鐵
道ヲ拵ヘテ、其鐵道モ二俣トノ間ニド
レダケノ人間ガ其間ニ住ッテ居ッテ、ド
レダケ鐵道運輸ノ上ニ供給スル物資ガ
アルカト云フコトハ餘程御研究ニナッ
タ方ガ宜シカラウト思フ、サウシテ是
等ノ線ニ多額ノ金ヲ要シテ、サウシテ
有益ナル遠信鐵道ノ速成ヲ見ズシテ、
之ヲ私設會社ニ許シテ、私設會社ガ果
シテ其計畫通りニ進行ガ出來ルカドウ
カト云フコトハ、是ハ餘程研究問題デ
アラウト思フ、デアリマスカラ私ハ只
今志賀參與官ノ御答辯ニハ満足致シマ
セヌガ、併シ段々進ンデ行ケバ、矢張意
見ノ相違ニ歸シマスカラ、其點ハ打切
ルコトニ致シマス、ソコデ更ニ御同致
シタイコトハ、曩キニ遠信鐵道、即チ政

府ノ計畫ナサル所ノ二俣カラ佐久間ヲ
除キマシテ、佐久間カラ天龍川ヲ遡ッテ
サウシテ下俣ニ至ル、即チ天龍峽ノ少
シ上、其間ノ線路ハ約四十四哩バカリ
ト記憶シテ居リマスガ、ソレ等ノ建設
ニ對スル出願ト、ソレカラ三州ノ方面即
チ豐川線カラ鳳來寺ヲ經テ、鳳來寺ハ三
州ノ川合ト云フ所ガ終點ニナッテ居ル、
ソコデ川合カラ浦川ヲ經テ佐久間ニ至
リ、佐久間ヨリ天龍峽ニ至ル所ノ一ツ
ノ路線、一口ニ言ヘバ三信鐵道、信州ト
三州ト結付ク線デ、一ツハ遠州ト信州
ヲ結付ケル遠信鐵道、此二ツノ私設會
社ノ經營ノ下ニ競願ニナッタ、而シテ此
競願ニナッテ居ッタモノガ、仙石鐵道大
臣ヨリ井上鐵道大臣ノ過程ニ於テ調査
研究セラレタ所ガ、三信鐵道即チ三州
ト信州トヲ結付ケル、鐵道此鐵道ノ中
デ三州ノ川合カラ鳳來寺鐵道ノ終點浦
川マデト云フモノハ岩石地帶デアッテ、
到底鐵道工事ハ難工事ノ中ノ至難ナ場
所デアル、此岩石地帶ヲ掘鑿シテ、サウ
シテ立派ナ路線ヲ造ルト云フコトハ、
鐵道技術上不可能デアルト云フ見地ノ
下ニ、井上大臣ノ時デアッタカ、仙石大
臣ノ時デアッタカ、是ハサダカニ知リマ
セヌガ、凡ニ承ル所ニ依レバ、此三信鐵
道ハ到底完全ヲ期シ難イト云フノデ不
許可ノ決定ヲシタ、其記録ハ高閣ニ束
ネテアッタト云フコトヲ聞イテ居リマ
ス、而シテ遠信鐵道ノ方ハ川合カラ浦
川間ノヤウナ難所ハ無イ、是ハ頗ル有

第五類第十號 鐵道敷設法中改正法律案委員會議錄 第十九回 昭和四年三月十一日

望デアルト云フヤウナコトデ、御調査ニ御調査ヲ重ネテ居ラレテ、今將ニ許可ニナラントスルノ際、昭和二年四月ノ政變トナリ、小川鐵道大臣ニナルヤ間モナク遠信鐵道ハ却下トナリ、三信鐵道ガ先ニ鐵道技術上極メテ困難ニシテ、到底完成ヲ期シ得ラレヌト調査セラレタモノガ、内閣ガ更リ、大臣ガ迭ルト云フト、直ニ難工事が容易ナル工事場所トシテ之ヲ許可サレマシタノハ、ドウ云フ御調査ノ結果ニ基クカ、ソレヲ一ツ明ニ御答辯ヲ願ヒマス

○志賀政府委員 只今ノ遠信鐵道、三信鐵道出願ニ對スル處置ハ、只今此處デ分リマセヌカラ、尙調査ヲ致シテ御答致シマス

○井上委員 此遠信鐵道ノ路線ハ政府ノ豫定線デアリ、國民齊シク此ノ政府ノ豫定線ニ信賴ヲシテ是ガ完成ヲ祈ッテ居ル、又頗ル信賴ヲ以テ期待シテ居ル、所ガ此線路ハ先刻執拗ク御同致シタヤウニ、遂ニ之ヲ拋棄セラレテ、サウシテ私設會社ニ御許シニナッタ、假ニ私設會社ヘ御許シニナッタ云フコトガ宜イト致シマシテ、サウシテ此三信鐵道ノ私設會社ヘ御許シニナッタ、是モ宜イトシテ、政府ハ一旦政府ノ政策トシテ、國策トシテ、而モ是ハ原内閣當時ニ元田鐵道大臣ノ時ニ此豫定線ハ確定シタノデ、吾々モ當時協賛ヲ與ヘタ一人

デアル、然ルニ此立派ナル主要の線路トモ謂フベキ南北日本ヲ結付ケル此路線ヲ拋棄スルナラバ、拋棄シテサウシテ三信鐵道ニ許スナラバ、其許ス以前ニ於テ此豫定線路ヲ何故政府ハ變更ナサラヌノデアアルカ、或ハ是ハ理窟カモ知レマセヌガ、苟モ政黨ハ政策ニ立チ、政策ニ活キントシ、而シテ政黨内閣ハ其政黨ニ於テ確立サレタ政策ノ實行機關デアアル、而シテ政友會内閣ニ於テ決定セラレタ所ノ此豫定線ヲ、而シテ是ガ政府ノ豫定線トシテ國民ノ承認ヲ得タル此重要ナル線路ヲ、他ノ三信鐵道會社ニ御許シニナルノデアアルナラバ、更ニ議會ノ協賛ヲ經テ此遠信線ヲ三信線ニスルト云フ、此變更ヲシナケレバナラヌ等ダト思ヒマス、サウデセウ、一旦遠信線トシテ決定サレタ、ソレヲ三信線ニ變更スルニハ、變更スルダケノ手續ヲ取ツタ後デナケレバ許サルベキモノデナイト思フ、吾々ハ法律家ノ見地カラサウ思ハレル、然ルニ其主要ナル政策ヲ拋棄スルノニ、拋棄スベキ理由ヲ國民ニ示シテ、サウシテ此遠信鐵道ト云フモノハ三信鐵道ニ劣ルコトハ萬々デアアルカラ、故ニ三信線ニ變更スル、變更シテ之ヲ私設會社ニ許スナリ、或ハ政府ガ自ラ是ガ建設ヲ爲スナリ、何レニシテモ此變更ノ方法ヲ講ズルト云フコトハ、政府ノ義務デアラネバナ

ラヌ、サウシテ國民ニ納得サシテ後ニ、政府自ラヤルダケノ財源ヲ直ニ捻出スルコト能ハザレバ、之ヲ私設會社ニ許スモ亦可ナリ、然ルニ是等ノ處置ヲ取ラズシテ、直ニ三信鐵道會社ニ御許シニナッタ理由ハ、如何ナル理由ニ基クカ、殆ド亂暴極ッタモノデ、政友會政府ニハ殆ド鐵道政策ニ付テハ一定ノ見地ガナイト、若シ國民ガ疑ッタ時ニハ、政友會内閣ノ御威信ニ關シハシナイカト實ニ御憂慮申上ゲル、之ヲ要スルニ三信鐵道ニ御許シニナル前ニ當ッテ、何故ニ遠信鐵道豫定線ヲ三信鐵道ニ變更シタ後ニ御許シナサラヌカト云フコトヲ、御尋致スノデアリマスカラ、其點ニ付テ御答辯ヲ御願シタイノデアリマス

○志賀政府委員 此豫定線ノ中ニ於テモ私設會社ニ地方鐵道トシテ敷設ヲ免メテアリマス、同時ニ其理由ハ前來大臣カラモ屢此委員會ニ於テ申上ゲタ通リナノデアリマスガ、只今御説ノ遠信鐵道ト申シマスノハ、敷設法ニアル長野縣辰野ヨリ飯田ヲ經テ、靜岡縣濱松ニ至ル鐵道、是ハ即チ遠信鐵道デアリマス、併ナガラ此三信鐵道ト云フノモ同ジク敷設法ニ依リマシテ、愛知縣大野、靜岡縣浦川ガ矢張豫定線路ニナッテ、浦川ヨリ更ニ又佐久間ニ接續シマス線、ソレガ矢張政府ノ豫定線ニナッテ

居ルノデアリマス、井上君ノ言ハレマス三信線モ豫定線ニ該當シテ居ル、ソレデアリマスカラ遠信線ヲ止メテ三信線ヲ別ニ豫定線ニ入レヨト云フヤウナ御説デアリマスケレドモ、三信線ト云フノモ連絡系統ヲ見マスト矢張豫定線ニナッテ居リマス、左様ナ順序デアリマスカラシテ、殊更ニ遠信線ヲ省イテ三信線ト變更スル必要ハナイ、豫定線ヲ御覽ニナレバ能ク分リマス、ソレダケ御答申上ゲマス

○井上委員 此大正十一年デアリマシタカ、鐵道法中改正法律案ノ出タ際ニ鐵道豫定線ガ確定セラレテ、サウシテ、當時鐵道網モ制定セラレテ、吾々ニモ配布セラレタノデアアル、ソレニハ辰野ヲ發シテ三州豐橋ニ至ル豫定線ハナカッタノデアリマス、ソレデ唯辰野カラ遠州濱松ニ至ル線路、ソレガ豫定線デアッテ、濱松カラ浦川ヲ經テ浦川カラ佐久間ニ出デ、其當時ノ豫定デハ佐久間カラ橋ヲ越エテ東ニ行ッテ、サウシテズット天龍峽下俣ヲ經テ飯田町ニ行ッテ、サウシテ伊那線ニ接續スルト云フ線路、是ガ豫定線デアリマス、デアリマスカラ此遠信鐵道ハアリマシタガ、三信鐵道ト云フモノハ後ニ三州ノ私設會社デヤッテ欲シイト云フコトニ依テ、始メテ三信鐵道ト云フ言葉ガ產出サレテ來タノデアアル、是ハ或ハ私ノ

ラヌ、サウシテ國民ニ納得サシテ後ニ、政府自ラヤルダケノ財源ヲ直ニ捻出スルコト能ハザレバ、之ヲ私設會社ニ許スモ亦可ナリ、然ルニ是等ノ處置ヲ取ラズシテ、直ニ三信鐵道會社ニ御許シニナッタ理由ハ、如何ナル理由ニ基クカ、殆ド亂暴極ッタモノデ、政友會政府ニハ殆ド鐵道政策ニ付テハ一定ノ見地ガナイト、若シ國民ガ疑ッタ時ニハ、政友會内閣ノ御威信ニ關シハシナイカト實ニ御憂慮申上ゲル、之ヲ要スルニ三信鐵道ニ御許シニナル前ニ當ッテ、何故ニ遠信鐵道豫定線ヲ三信鐵道ニ變更シタ後ニ御許シナサラヌカト云フコトヲ、御尋致スノデアリマスカラ、其點ニ付テ御答辯ヲ御願シタイノデアリマス

○志賀政府委員 此豫定線ノ中ニ於テモ私設會社ニ地方鐵道トシテ敷設ヲ免メテアリマス、同時ニ其理由ハ前來大臣カラモ屢此委員會ニ於テ申上ゲタ通リナノデアリマスガ、只今御説ノ遠信鐵道ト申シマスノハ、敷設法ニアル長野縣辰野ヨリ飯田ヲ經テ、靜岡縣濱松ニ至ル鐵道、是ハ即チ遠信鐵道デアリマス、併ナガラ此三信鐵道ト云フノモ同ジク敷設法ニ依リマシテ、愛知縣大野、靜岡縣浦川ガ矢張豫定線路ニナッテ、浦川ヨリ更ニ又佐久間ニ接續シマス線、ソレガ矢張政府ノ豫定線ニナッテ

居ルノデアリマス、井上君ノ言ハレマス三信線モ豫定線ニ該當シテ居ル、ソレデアリマスカラ遠信線ヲ止メテ三信線ヲ別ニ豫定線ニ入レヨト云フヤウナ御説デアリマスケレドモ、三信線ト云フノモ連絡系統ヲ見マスト矢張豫定線ニナッテ居リマス、左様ナ順序デアリマスカラシテ、殊更ニ遠信線ヲ省イテ三信線ト變更スル必要ハナイ、豫定線ヲ御覽ニナレバ能ク分リマス、ソレダケ御答申上ゲマス

○井上委員 此大正十一年デアリマシタカ、鐵道法中改正法律案ノ出タ際ニ鐵道豫定線ガ確定セラレテ、サウシテ、當時鐵道網モ制定セラレテ、吾々ニモ配布セラレタノデアアル、ソレニハ辰野ヲ發シテ三州豐橋ニ至ル豫定線ハナカッタノデアリマス、ソレデ唯辰野カラ遠州濱松ニ至ル線路、ソレガ豫定線デアッテ、濱松カラ浦川ヲ經テ浦川カラ佐久間ニ出デ、其當時ノ豫定デハ佐久間カラ橋ヲ越エテ東ニ行ッテ、サウシテズット天龍峽下俣ヲ經テ飯田町ニ行ッテ、サウシテ伊那線ニ接續スルト云フ線路、是ガ豫定線デアリマス、デアリマスカラ此遠信鐵道ハアリマシタガ、三信鐵道ト云フモノハ後ニ三州ノ私設會社デヤッテ欲シイト云フコトニ依テ、始メテ三信鐵道ト云フ言葉ガ產出サレテ來タノデアアル、是ハ或ハ私ノ

記憶が間違ッテ居ッタナラバ取消シマス
ガ、サウ記憶シテ居リマス、ソレカラ尙
ソレデ御答ガアレバソレカラ承ッテ、別
ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○志賀政府委員 所謂遠信鐵道ト云フ
ノハ只今御話ノ如ク敷設法別表第六十
號、長野縣辰野ヨリ飯田ヲ經マシテ靜
岡縣ノ佐久間ニ達シ、佐久間ヨリ二俣
ヲ經テ濱松ニ至ル鐵道、是ガ遠信鐵道
デアリマス、然ルニ同ジク敷設法ニ靜
岡縣掛川カラ二俣ニ至リ、二俣カラ愛
知縣ノ大野、即チ三河大野ニ參リマシ
テ、ソレカラ更ニ靜岡縣ノ浦川ニ參リ
マシテ、浦川ヨリ更ニ分岐シテ佐久間
ニ達シマスル線路モアル、ソコデ佐久
間ニ達シマスル線路ヲ今ノ遠信線ト接
續スルコトニナル、ソレガ即チ大野、先
程御話ノ三河川合デ、浦川ト佐久間ヲ
連絡スル豫定線ニナッテ居ル、ソレガ即
チ今ノ三信鐵道會社ニ許サレマシタ線
路デアリマス、サウ云フ豫定線ニナッ
テ居リマスガ故ニ、其豫定線トシテハ既
ニ存在シテ居ルノデアリマス（ソレハ
「強辯ダ」ト呼ブ者アリ）サウ云フコトニ
ナッテ居ルノデアリマスカラ、其線路ニ
付テ、即チ三河川合ヨリ浦川ヲ經テ佐
久間ニ至リ、佐久間ヨリ天龍峽ニ至ル
線路ヲ許スノデアリマス

町ニ至ル、是ハ遠美鐵道其大井町ニ至
ルノニハ掛川ヨリ二俣ニ至リ、二俣ヨ
リ浦川ニ出デ、浦川ヨリ大野ニ出デ、ソ
レカラ三州カラ尾張ニ這入ッテ美濃ニ
接續スルノガ是ガ遠美線デアアル、ソレ
デ今ノ御話ノハ遠美線ノ一部デアアル、
サウスルト遠美線ト遠信線ト今度ハチ
ヤンボンニ是ガ許可サレテ居ル、宜シ
ウゴザイマス、ソレナラバ其三信鐵
道ト云フ一ツノ新ナ線路ヲ造ッタコト
ニナルノデアリマスカラ、遠美鐵道ノ
一部ト遠信鐵道ノ一部ヲ合セテ合成シ
タモノガ三信鐵道ト云フコトニナッ
テ居ル、サウスルト新ナ獨立線ガ出來タ
ヤウニ吾々ニハ見ラレル、例ヘバ舊債
務ガ消滅スルヤウナモノデ、前ノ遠信
鐵道ノ主要部分ト、ソレカラ遠美線ノ
連絡區域ノ一部トヲ結付ケテサウシテ
三信鐵道ト云フ新ナル路線ヲ造ル結果
ニナッタ、然ラバ遠信鐵道ト云フモノハ
ナイ、遠信線ハ只今ノ場合ハ二俣カラ
佐久間デ打切ッテ居ル、佐久間デ打切
テ、ソレカラ上ニハ行カナイサウスル
ト政府ノ豫定サレタ遠信線ト云フモノ
ハソレデ殆ド消滅ニ歸シタヤウナ姿ニ
ナッテ居ル、ソコデ三信鐵道ト云フモノ
ハ——マダ鳳來鐵道ハ川合マデ行ッテ
居ナイ、大野マデシカ行ッテ居ナイ、ソ
レヲ大野カラ川合マデ延長シテ、今日
デハ川合カラ浦川ヲ經テ佐久間ニ至

リ、サウシテ天龍峽ニ至ル、此接續路線
即チ新タナル三信鐵道ト云フ路線ヲ造
ツタノデアリマス、サウスレバ前ノ遠
信鐵道ト云フモノヲ拋棄シテ、サウシ
テ之ヲ變更シテ、ソレカラ三信鐵道ト
云フ豫定線ヲ造ラナケレバ、折角國民
ニ約束シテ置イタ遠信鐵道ト云フモ
ノガ、空ニ歸シテシマウト云フコトニ
依テ、其地方沿道ノ者ハ此遠信鐵道ノ
開設ニ依テ、是カラ後業ヲ營マント云
フ者ハ、隨分氣負ヒ立ッテ計畫シタ者ガ
アル、其氣負ヒ立ッテ計畫シタ者ガ、今日
ハ殆ド跡ヲ潜メテシマッテ居ルト云フ狀
態ニナッテ居ル、故ニ地方ノ失望落膽、
爲ニ産業ノ開發ハ遂ニオデヤントナッ
テ、今日デハ唯何時出來ルカ、或ハ三信
鐵道ハ着手延期ニ着手延期ヲ重ネテ居
ルコトデアラウト思フノデアリマス、
サウスルト何時是ガ完成スルノデア
ルカ、サウ云フヤウナ事情ノ下ニ私設會
社ニ許サナクトモ、僅カ三十三哩位ノ
モノ、計畫ハ、政府デ出來得ザル程ノ
苦シイモノトモ思ハレナイ、黨略ヲ直
ニ拋棄シテ下サッテ、サウシテ無駄ナ私
設線ヲ買上ゲルコトヲ御止メニナッ
テ、サウシテ有望ノ線ニ振向ケテ下サ
ルナラバ、此三十三哩ハ出來テ、サウシ
テ沿道ノ者ハ謳歌シテ政友會内閣ニ向
ツテ絶大ナル信賴ヲ拂ッテ、舉ッテ入黨
スル者ガ澤山アルノデアリマスカラ、

ドウカ國家ト云フ見地ニ立ッテ、一ツ御
研究ヲ願ヒタイ、此希望デ止メテ置キ
マス、ソレカラ斯ウ云フ事ヲ一ツ伺ヒ
タイノデアリマスルガ、只今御提案ニ
ナッテ居リマスル此地方鐵道法中改正
法律案、是ニハ一旦工事ニ着手シテ、ソ
レガ公益上必要アリトシテ政府ガ買上
ゲル、買上ゲタ時ニ未成線ヲ其儘デハ
困ルト云フノデ、更ニ買收ヲ申請スル
ト云フ途ガ開ケテ居ルノデアアル、假ニ
三信鐵道ノヤウナモノガ出來タラバ宜
シイガ、若シ出來ナイデ、何時マデモ打
チャッテ置カレテ、サウシテ政府ノ主要
ナル政策ノ實行ヲセラレヌト云フヤウ
ナ憂ヲ來スヤウナ場合ニハ、未成線ノ
買收ニナルカ或ハ拋棄スルト云フ一ツ
規定ヲ設ケルコトノ意思ハナイカ、
〔若宮委員長委員長席ヲ退キ熊
谷理事代リ著席〕
現在ノハ私設會社ヲ買收スル、所ガ未
成線デアアル、未成線デアアル爲メ賣拂ハ
レテハ困ルカラト云フノデ、當事者ヲ
シテ買上ゲテ貰ヒタイト云フ申請ヲサ
セルト云フコトガ出來ルト云フ今度ノ
改正案デアリマス

○細野鐵道書記官 改正案ニ依リマス
ト、若シ未成線ガ殘ッタ場合ニハ、未成
線デハ買收ヲ申請スルコトハ出來マセ
ヌガ、ソレニ對シテハ補償ノ申請ヲス
ルコトガ出來ル、サウ云フコトニ致シ

タノデアリマス、若シ殘ツタ線路が開業線路の場合ニハ、買収ノ申請ガ出來ル未成線の場合ニハ補償ノ申請ガ出來ル、補償ト申スノハ未成線ニ限ツテ工事費カラ財産物件デアアル所ノ「レール」デアルトカ、土地デアルトカ、サウ云フ物ノ價格ヲ控除シタ金ダケヲ企業者ニ拂フ、斯ウ云フ改正ノ趣旨デアリス

○井上委員 別ノ問題デアリマスガ、東海道線濱松舞坂間ニ高塚信號所驛ト云フモノガ新タニ出來マシタ、是ハ志賀參與官モ一兩度實地ニ就テ御調査ニナツタト云フコトヲ承ツテ居ル、而シテ志賀參與官ノ言動ニ對シテ、地方民ハ非常ニ信賴ヲ拂ツテ、昨年二月執行サレタ衆議院議員選舉ニハ餘程有利ニ導カレタヤウニ思フ、是ハ多分仙石大臣ノ時代デアリマシタカ、井上大臣ノ時代デアリマシタカ知リマセヌガ、高塚信號所ヲ擴張シテ、彼處ヘ新驛ヲ新設スル、丁度濱松ト舞坂間ハ六哩五分デ、ソレデハ長過ルカラ中間位ノ此處ガ宜カラウト云フノデ、過去十二年來開驛ヲ計畫シタ、其當時増樂、高塚、篠原ト云フ此三ツノ所カラ競願ガアツテ、後ニハ高塚ト篠原ガ妥協サレテ増樂ト二ツノ競願ニナリマシタ、此二ツノ競願ニナツタ場合ニ於テ時ノ後藤工務局長ガ仲裁セラレテ、サウシテ双方ノ競願ヲ

撤回シテ、一ツノ驛ノ開設ヲ出願シタ、當時私共ノ聞ク所ニ依リマス、汐留驛カラ百七十哩ノ地點ヲ基礎トシテ、サウシテ驛ヲ設ケルト云フコトニ決定サレタト承ツタノデアリマス、然ルニ内閣ガ更迭サレマシテ、志賀參與官等モ實地ニ就テ御調査ニナリマシタ結果トシテ、ソレヲ變更サレテ、何デモ六七十里間カ舞坂ノ方、西ノ方ニ變更サレタ、井上剛一自身ノ意見ト致シマシテハ、自ラ政府ノ處置ニ付テハ別ノ考ヲ持ツテ居リマスガ、兎ニ角前ノ内閣ガ決定シタモノヲ後ノ内閣ニ至ツテ、之ヲ變更スルト云フコトハ、ドウ云フ一體事情ニ基イタモノデアラウカ、此變更シタ結果トシテノ副産物ハ、志賀參與官モ御承知デアリマセウガ、或ハ其附近ノ驛ニ通ズル道路ノ土地ヲ無償デ寄附スルト云フノモ變更シテ、而シテ鐵道省ニ於テ舊道路ヲ無暗ニ變更シタト云フノデ、所轄村長カラ鐵道大臣ニ向ツテ、道路法ニ依テ、サウシテ道路ノ無承諾開鑿シタト云フコトハ、如何ナル理由デアアルカ、之ヲ現狀ニ復スルカ、或ハ賠償セヨト云ウヤウナ催告ヲ受ケタコトハ、掩フベカラザル事實ト心得テ居リマス、而モソレニ依テ或ハ各村方ノ一ツノ競爭トナツテ、小學兒童ヲシテ休學ヲセシメルト云フヤウナ騷モ起シタ、斯ノ如キハ政府ノ方針一ツニ依テ極メテ

感受性ノ強イ小學兒童ニマデ、此鬭爭ノ弊ヲ味ハシメタト云フコトハ、甚ダ容易ナラザルコトデアルト思フノデアリマス、是ハ政府トシテ高所大所カラ見テ、或ハ地方ノ出來事ヲ御承知ハ是ナキヤモ未ダ知ルベカラズト存ジマスガ、併ナガラソレノ機關ヲ經テ御手許ニ報告ニナツテ居ルコト、思フ、而シテ靜岡縣ノ首腦部ニ於テハ是ガ妥協ニ對シテハ非常ニ努力セラレテ、昨年ノ七月カ八月ニハ既ニ工事ハ完成シテ居リナガラ、アノ全ク道モナイ真中ニ新設驛ガ出來テ、通行スル旅客ガ一體此處ニハ道モナイノニ停車場ガ在ツテ、サウシテ更ニ驛ノ名前ガナイ、ソレデ長イ間雨曝シニシテ居ルガ、ドウ云フ次第デアルト云フテ通行スル人ハ何レモ評論ヲシテ行ク、評論ヲシテ行ク度ニ志賀參與官ハ噓ヲシテ居リハシナイカト思ツテ居タ位デアアル、新聞紙ヲ見マス、昭和四年二月十一日ノ紀元節ニハ或ハ開驛ニナルデアラウ、此頃ハ又四月三日ノ神武天皇祭ニ開驛ニナルデアラウト云フヤウナコトガ地方ニ於テ非常ニ疑問ニサレテ居ル、而モ前内閣ニ依テ決定サレタル沙留驛ヨリ百七十哩幾ラ——私ハ細カイコトハ記憶致シマセヌガ、其地點ヲ決定シテ居ッタガ、現内閣ニナリマシテカラ是等ノ請負ヲ命ジ、今當ニ着手セントスルニ當ッ

テ其工事ヲ中止サレタ、是ニ於テ請負人ハ非常ニ狼狽ヲシタ、サウシテ五六箇月經タ後ニ又新ニ入札ヲシテ、矢張前ノ落札者ニ落札シタカラ、故障ナク濟ンデ居リマスガ、總テノ材料ハ一旦其場所ニ蒐集シテ、是ヨリ大ニ土工ニ掛ラントスル時ニ當ツテ、黨利黨略ノ犠牲トシテ、サウシテ一時其工事ヲ中止シテ、地方ノ鐵道ヲ利用シテ非常ナ疑惑ノ裡ニ葬ル、サウシテ隣保相親ミ、互ニ冠婚葬祭ニ至ルマデモ地方民ハ親密ニ暮シテ居ルノニ、今日此政府ノ御變更ニナリマシタコトニ依テ、同ジ一ツノ可美村ト云フ部落ノ中デ互ニ反目嫉視シテ、ソレガ現在マダ繼續シテ居ル、是ハ政府ノ御手心ニ依テ殆ト自治ヲ根柢カラ破壊スルヤウナ結果ニ陥ツテ居ルノデアリマス、是等ハ事頗ル小ナリト雖モ、及ボス所ノ影響ノ大ナルモノアルコトヲ感じナケレバナラス、況ヤ小學兒童ヲシテ假令一時ノ現象ナリトスルモ、學校ヲ休業シテ、サウシテ隣接町村ヘ——アノ遠イ所ヘ通學セシメルト云フガ如キ、此感受性ノ強イ兒童ヲシテ變轉極マリナキ浮世ノ沙汰ヲ感ジサセルト云フコトハ、風教上甚ダ面白カラザル結果ヲ產出シタモノト思フ、之ニ付テハ幸ヒ直接御關係ト云フ意味デハアリマセヌガ、御觀察ニナツタ志賀參與官ノ御列席アルガ故ニ、此場合率

直ニ御答辯ヲ願ヒマシテ、地方民ノ惑ヲ解イテ戴キタイト思フ

○志賀政府委員 御答ヲ致シマスガ、其前ニ先程御話ニナリマシタ遠信線、三信線、並遠美線ニ付テ一寸申上ゲテ置キマス、如何ニモ切レ〜ニナッテ居ルノデアリマスガ、政府ノ從來ノ計畫——吾々ガ鐵道ニ入リマス前ノ計畫ニ於キマシテハ、掛川、佐久間間ト云フ線路ヲ着手スルコトガ豫定サレテ居ッタ、是ハ豫算マデ積ッテアル、此線路ハ只今井上君御指摘ノ通り、掛川ヨリ二俣ニ至ルモノガ井上君ノ所謂遠美線デアリマス、二俣ヨリ佐久間ニ至ル間ハ遠信線ノ一部デ之ヲ連絡シテ工事ニ着手スルヤウナ豫定計畫ニナッテ居ル、現ニ豫算ガ其通りナッテ居ル、デアリマスカラ、實ハ鐵道當局ト致シマシテハ、遠信線トカ、遠美線トカ、三信線トカ、特別ノ線ガアルト云フコトヲ此敷設法ニ於テ命名シテ居ルノデハナイ、唯法律ニアル所ノ辰野ヨリ飯田ヲ經テ濱松ニ至リマスル線路ト云フモノガ、遠州ト信州ヲ繋グガ爲ニ遠信線ト稱スルダケニ過ギナイ、併ナガラ今回ノ私設鐵道カラ願ヒマシタノハ、即チ遠信線ノ或部分並遠美線ノ或部分ヲ聯絡シテ、サウシテ願ッタノデアリマスカラ、之ハ豫定線ニ在ルノデアリマス、豫定線ニ屬スルノデアリマスカラ、之ヲ許シタニ

過ギナイノデアリマス、所謂遠信線トカ三信線トカ云フ線路ヲ特別ニサウ云フ系統デアルモノデアルト云フコトニハ見テ居リマセヌ、左様デアリマスカラ、前ノ計畫ニ於テモ掛川ヨリ二俣ニ至リ、此二俣ヨリ浦川ニ至ル豫定計畫ヲ樹テラレタヤウナ次第デアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ、篤ト御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ只今ノ停車場ノ問題デアリマスガ、是ハ實ハ變更シタノデハナイノデアリマス、吾々ガ鐵道ニ入リマシテカラ、篠原方面ノ人ハ是非篠原ニ置イテ貫ハナケレバ困ルト云フノデ、色々ナ陳情ガアリマシタカラ、私モ地方ヘ出張致シマシタ途次、視察ヲ命ゼラレマシテ、其地方ヲ見タノデアリマス、當時此信號所ヲ昇格スルコトニ決定致シマシタ時ハ、如何ニモ井上君御述ノ如ク三箇所ノ競争極メテ激烈デアッタ爲ニ、舞坂ト濱松ノ中央ヲ中心トシテ、停車場ヲ置クコトニ決定致シタノデス、當時私ガ視察ヲシテ參リマシタ結果ト致シマシテ、是ハ變更スル必要ハナイ、即チ此信號所附近ヲ中心トシテヤルコトハ當然デアアル、隨テ篠原ノ請願ノ趣旨ハ到底成立タスト云フコトニ決定致シマシタガ、唯其時濱松方面ニ寄リマシタ停車場敷地ニ於テ裏ノ方ノ何ト云ヒマシタカ、裏ノ方ノ村カラ東海道筋ノ街道ニ

通ジマスル道路ガアル、此道路ノ敷地ニ掛リマス爲ニ、停車場ヲ置キマスル關係上眞直ニ通ッテ居リマシタノガ、非常ニ迂廻シテ鍋蔓ノヤウニ迂廻シテ通ラナケレバナラヌ道路ガアル、ソレハ實ニ不便極リアリマセヌカラ、ドウシテモ篠原ノ方面ニ行クコトガ出來ナイトスレバ、此道路ダケデモ眞直ニ通ズルヤウニシテ貫ヒタイト云フ願ガアリマシテ、如何ニモ尤ノコト、思料致シマシテ、工務ノ方ノ技術者ニ調査ヲ命ジマシタ所ガ、其ノ方ガ如何ニモ便利デアアルカラ、ソレナラバ其部分ダケハ一ツ停車場ヲ西ノ方ニ寄セタ方ガ宜カラウト云フコトニナリマシテ、村長竝其他地方ノ代表者トモ目スベキ人モ屢東京ニ出テ參リマシテ、サウシテ村長ノ高橋平次郎、此人モ工務局等ニ出頭致シマシテ、私ハ立會ヒマセヌガ、工務局ニ於テ如何ニモ尤ノ話デアアルカラ、其通り宜シイト云フコトデ承諾シラ、ソレデ僅ニ七十間デアリマスカ、六十間デアリマスカ、西ノ方ニ寄ラシテ、今ノ道路ヲ眞直ニ通ズルヤウニ設計ヲ變更シタノデス、場所ノ變更ハ致シマセヌガ、設計ノ或部分ダケヲ六、七十間西ニ寄セルコトニシテ、眞直ニシタノデス、然ルニ其後ニ於テドウ云フ都合デアリマシタカ、其村長ハ非常ニ反對ヲ稱ヘテ、色々紛糾ヲ見タ結果トシテ、

遂ニ工事が出來テモ開業スルコトガ出來ナイト云フコトデ、縣廳等カラ屢調停ヲ致シ、今其事ハ既ニ纏ッタト云フコトニ承ッテ居ッタノデアリマス、サウ云フ狀態デアリマシテ、實ハ場所ヲ變更シテ貫ヒタイト云フ請願ノ爲ニ視察ヲ致シタ結果、場所ノ變更ハ之ヲ認メナイト云フコトニ決定致シマシテ、唯如何ニモ道路交通ノ不便ナル鍋蔓ノヤウナ特殊ノ道路ガ出來ルノデ、從來ノ如ク眞直ニ道路ヲ附ケテ置イタ方ガ宜シイト云フ立場ニ於テ、多少西ノ方ヘ寄ラシタト云フ事實ハアルノデス、ソレガ決シテ黨利黨略ノ爲デモ何デモナイ、地方ノ交通上ノ便利カラ迂廻シテ道路ヲ作ルヨリハ、少シ片寄ラセテ眞直ニナルナラ眞直ガ宜シイト云フノデ、眞直ニシタニ過ギナイノデアリマス、左様ナ狀態デアリマシテ、決シテ殊更ニ井上君ノ言ハレル黨勢擴張トカ、黨利黨略ノ爲ニ左様ナ措置ヲシタモノデナイト云フコトヲ御諒承仰ギタイノデアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○井上委員 只今前段ノ御答辯ニ對シテ成程或ハ三信線、遠美線、或ハ遠信線デアルトカ云フヤウナ風ニハ書イテアリマス、地ニ示シテ何處カラ何處ニ至ルト云フ地點ヲ示シテアル、地點ヲ示シテアルガ矢張政府モ遠美線ト

言ッテ居ル、口デハ、説明デハ、吾々モ遠州カラ美濃ニ行クノハ遠美線ト言ッテ居ル、信州カラ遠州ニ行クノデアルカラ遠信鐵道ト云フコトハ政府モ認メテ居ル、成程法文ニハ、鐵道ノ附屬豫定線トシテハ、遠信線、或ハ遠美線、三信線トカ書イテアリマセヌ、アリマセヌガ地點ヲ示シテ、サウシテ兩國ヲ結ブ事ニ依テ、簡單ナ名前ヲ付ケテ遠信鐵道、或ハ遠美鐵道、三信鐵道ト云フノデアル、ソレヲ私ガアレ程諄ク言ウタノニ、明敏ナ志賀參與官ガ分ラナイ筈ハナイケレドモ、法廷ニ於ケル癖ガアッタト見エル、苟モ三信鐵道ト云フ未ダ曾テ是レ無カリシ所ノ三信鐵道ト云フ線ヲ私設會社ニ許スナラバ、其意味ニ於テ遠信鐵道ノ路線、之ヲ變更シナケレバナラヌ筈デアル、何トナレバ三信ノ聯絡ハアリマセウケレドモ、未ダ曾テ三信鐵道豫定線トシテ認メラレテ居ッタモノハナイノデアリマス、ソレヲ今度私設會社ニ、三信鐵道ト云フモノニシテ新ナル線路ヲ決定サレタ、新ナル線路ヲ決定スル時ニ當ッテハ、矢張是ハ兩院ノ協賛ヲ經テサウシテ確定シナケレバナラヌ筈デアル、此新線路ヲ作ル場合ニ當ッテ、其變更手續ヲ何故シナイカト云フコトヲ御尋シテ居ルノニ、ソレニ觸レズシテ他ヲ言フ、サウ云フ御答辯ヲナサル志賀參與官ノ其御苦シサ

ヲ諒トシテ、強ヒテ御答辯ハ求メマセヌ、ソレカラ後段ノ高塚信號所ノ停車場問題、是ガドウシテ村長ナドガ現内閣ニ向ッテ、位置ノ變更ハ兎モ角、場所ヲ讓ルト云フコトニ同意スル筈ガナイ、後ニ控ヘテ居ラレル方ガ喜安君デアルナラバ、喜安君ハ其當時ノ事情ハ餘程御承知ダト思フ、喜安君ノ御答辯ヲ求メル譯デハナイガ、當時ノ事情ヲ少シ申セバ、參與官ノ御答辯モ自ラ變更スルト思フカラ御參考マデニ申上ゲル、増樂ト云フモノト、高塚ト篠原ト云フモノ、競願デアッテ、ソレヲ妥協スルニ當ッテ、ドウシテモ八千町歩バカリデアッタカト思ヒマスガ、無償デ土地ヲ寄附スルト云フコトガ一ツノ條件デアル、而モ停車場ノ如キハ、私ガ申スマデモアリマセヌガ、此計畫ダケノ金ハアリマスケレドモ、土地ヲ買フ金ハナイ、是ニ於テドウシテモ土地ノ無償寄附ヲサセルト云フコトガ前提要件、ソコデドウシタラ宜カラウト云フコトデ、當時ノ政府ハ非常ニ苦慮セラレ、後藤工務局長ナドモ頭ヲ悩マサレテ、ソコデ増樂ノ人間ヲシテ満足ハセシメナイケレドモ、兎ニ角増樂ノ内ヘト云フナラバ面目ハ立ツ、サウスレバ此面目論ニ依テ土地ノ無償寄附ヲサセルト云フコトガ一ノ重大ナル案件デア

ル、ソコデ増樂區ト高塚區ト云フモノガ組ンデ土地ヲ寄附スル、當時篠原村ノ方デハ字増樂ト云フ内ヘ包容セラレタル停車場ニ對シテノ用地、或ハ用地費ニハ、一坪デモ一文デモ寄附スルコトガ出來ヌト云フノデ、到頭篠原村ハ出サナカッタ、サウ云フ人ノ感情問題ニナッテ居ル

〔此時熊谷理事委員長席ヲ退キ若宮委員長復席〕

今志賀參與官ノ仰ッシャッタ所ノ當時ノ上村村長ハ、絶對ニ増樂部落ニ設置スルコトノ根本主張者デアリマスカラ、是ガ其部落ト云フモノヲ脱出シテ他ノ方面ニ向ッテ移スコトニ承知スル筈ハナイ、之ヲ承知シテ後ニ苦情ヲ言ッタト云フ志賀參與官ノ説明ハ、甚ダ前後ノ事情カラ推定シテモ、諸般ノ事情ヲ綜合シテモ、參與官ノ只今ノ御答辯ハ聊カ附ニ落チザル御答辯ト思ヒマスガ、ソレ以上追窮スルコトハ宜クナイト思ヒマスカラ、先ヅ是ダケニシテ、遺憾ノ意ヲ表シテ質問ヲ打切りマス、序デスカラモ一ツ伺ヒマスガ、是ハ或ハ私ガ繼承セザル以前ニ、既ニ質問ガアッタカ知レマセヌガ、何ダカ惡口バカリデ恐縮デアリマスガ、是ハ官紀ノ肅正トカ、綱紀ノ肅正トカ云フ問題ニ觸レルヤウニ思ヒマスカラ、一言伺ヒマス、私ハ當時ノ新聞ノ記録ヲ今日持參致シマセヌデシタカラ、事實デアルカ事實デナイ

カ、ソレハ私ハ確信ヲ持ッテ居リマセヌケレドモ、新聞ニ麗々トシテ報道サレテアリマス以上ハ、少クトモ其形ハアツタンデハナイカト思ハレル問題デアリマス、ソレバ外デハナイノデアリマス、加藤内閣ガ成立致シマシテ、其下ニ於テ仙石貢君ガ鐵道大臣トナッテ、當時鐵道ノ收入ヲ考慮シ、又運輸量ノ混雜ヲ考慮シテ、例ノ無償「バス」ノ整理ヲシタ、然ルニ内閣ガ更迭シテ、現内閣ノ下ニ於テハ又ソレ等ガ復舊シテ、ソレゾレノ關係者ハ從前通り無償「バス」ヲ發行サレタト云フ事柄ハ、前内閣ニ於テ爲シタ整理ニ依テ官紀ヲ肅正シ、鐵道ノ收入ヲ考慮シ、交通ノ運輸量、汽車中ノ混雜ヲ防止シ、由テ以テ是ガ整理ヲ爲シタ政策ハ、是ハ改惡ナリトシテ、現内閣ハ改善スル意味ニ於テ還元サレタノデアラウカ、其點ヲ伺ヒマス、尙私ノ御尋ノ主旨ガ徹底シナイトイケマセヌカラ、更ニ一言致シマスガ、ソレハ生活ノ安定ヲ得テ居ル人、ソレ等ノ方面ヲ優遇スルト云フコトハ結構デアルケレドモ、是等ノ人々ハ汽車賃ヲ拂フコトニ依テ自己ノ生活ノ安定ヲ缺クヤウナ人々デハナサ、ウデアアル、然ラバ之ヲ整理シテ鐵道ノ收入ヲ圖ル、財源ガ不足シテ、建設費モ改良費モ不足デアルト云フヤウナ場合デアルカラ、之ヲ整理シテ幾分ナリトモ收入ガ殖エル

コトナラバ、是ハ改善ノ策デアツテ、改
惡ノ策ニアラズト私ハ思フ、故ニ此點
ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、モウ一
ツ、是ハ果シテ事實カドウカ知ラヌガ、

政友會ノ東北大會トカ何トカ云フコト
デアリマス、何政黨ト書イテアツタカ、
其點ハ今私ハ記憶ガ確カデアリマセヌ
カラ、政黨ノ名ヲ明言スルコトハ保留
シテ置キマスガ、其大會ヘ院外團ガ多
數出席スルニ付テ、二等ノ「バス」ヲ濫
發シタト云フコトガ、昨年ノ秋頃カト
思ヒマシタガ問題ニナツテ、其記事ガ新
聞ニ現ハレマシタ、斯様ナ事實ハ私ハ
決シテ之レ無カラシコトヲ信ジ、又之
レ無カラシコトヲ希望スル者デアリマ
スガ、若シ左様ナ便利ヲ與ヘタモノト
スルナラバ、一黨一派ノ大會ニ出席ス
ル人ニ便センガ爲ニ、無償「バス」ヲ發
行スルガ如キハ、公器ヲ私シテ、一黨一
派ニ利スルト云フ、所謂官紀上由々敷
問題ニナルト思フ、是等ハ若シ質問ガ
ナカッタナラバ、天下ノ疑惑ヲ解ク爲ニ
モ私ハ茲ニ御懇切ナル御説明ヲ得テ置
ク方ガ、某政黨ノ爲ニモ、又國民ノ疑惑
ヲ解ク上ニ於テモ、某政黨ノ信用ヲ高
メルコトモ出來テ、一舉兩得ト思フ、甚
ダ皮肉ノヤウナ心持モ致シマスケレド
モ、是ハ吾々トシテ政黨ニ關係アル者
ハ、其所屬政黨ノ信用ヲ高メ、一般國民
ノ信頼ヲ得タイト云フ衷情カラ御尋ス

ルノデアリマシテ、決シテ皮肉デ質問
スル譯デアアリマセヌカラ、其點ハ誤
解ノナイヤウニシテ、懇切ナル御答辯
ヲ願ヒマス

○志賀政府委員 前ノ無賃乗車券ノ發
行ニ付テハ、如何ニモ御説ノ如ク仙石
鐵道大臣ノ時代ニ大分整理ヲ致シマ
シタ、此整理ハ鐵道當局ト致シマシテ
モ大體適當ト認メテ居リマス、唯國務
ノ遂行上如何ニモ不便ヲ感ズル部分
ノアルコトヲ認メマシタガ爲ニ、或
ル部分ニ限ツテ極メテ輕度ノ「バス」ヲ
交付スル範圍ヲ擴メタコトハ事實ア
リマス、ソレガ何々デアリマシタカ、
今此處ニ記錄ヲ持ッテ居リマセヌカ
ラ、明白ニ申上ゲ兼ネマスガ、慥力樞
密顧問官トカ親任官トカ、若クハ又法
制局長官トカ、書記官長トカ云フ部
分、竝ニ地方長官ニ對シテハ其管内及
東京マデ上京ノ用ニ供スル場合ト云
フ位ノ程度ノ所ニ於テ擴張シテ參リ
マシタ、其他ニ於テハ從來會テ、三派内
閣以前ニ於テ發行セラレマシタヤウ
ナ「バス」ハ決シテ出シテ居リマセヌ、
唯新ニ規定ヲ出シマシテ、只今申シマ
シタヤウナ範圍ニ於テ、少數ノ部分ニ
限リ、大體ニ於テ仙石大臣ノ整理ノ方
針ヲ繼承シテヤッテ居ル次第デアリマ
ス、其點ハ御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラ
某政黨ノ大會ニ於テ、何カ無料「バス」

ヲ出シタト云フノハ、ソレハ當時新聞
ニ依リマシテ、慥カ政友會ノ關東大會
ガ千葉デ開カレタ時デアツタト記憶シ
マス、新聞紙上ニ出マシタカラ實ハ私
モ驚キマシタ、調査致シマシタガ、ソレ
ハ事實ガ無イノデアリマス、貸切列車
ノ後拂ト申シマスカ、何カ後デ計算ス
ルコトニシタ列車ヲ發シタコトハアル
ノデス、而シテ其代金ハ後ニ取立テマ
シタ、無料「バス」ヲ出シタト云フノハ
其貸切列車ガ出タノデアリマシテ、ソ
レニ無料デ乗セテ行ッタノダラウト云
フ新聞記者ノ一種ノ想像ヨリ書イタノ
デアリマシテ、其新聞ニ對シマシテハ
取消ヲ要求シテ、慥カ取消シタ筈ニナ
ツテ居リマス、サウ云フ事實デアリマ
シテ、實際新聞ノ誤報デアッタノデアリ
マス、即チ仙石鐵道大臣ガ「バス」ヲ整
理致サレマシタ趣意ハ、今日デモ依然
トシテ實行致シテ居リマス、吾々ノ手
許マデ屢無料「バス」ヲ發行シテ貰ヒタ
イト色々ヤッテ參リマスガ、是ハ係員ニ
申スマデモナク、實際規則ニ當嵌マラ
ヌモノハ私共自身カラ斷ツテ居ル、斷ル
ノモ隨分氣ノ毒ナ人モアルノデアリマ
スケレドモ、已ムヲ得ズ斷ツテ居ル、鐵
道當局ト致シマシテハ規則ニ依テ鐵道
「バス」ヲ發行致シテ居リマシテ、其規
則ハ仙石鐵道大臣當時ニ於キマシテ、制
定致シマシタモノヲ、僅ニ擴張致シタニ

過ギナイノデアリマスカラ、左様御諒
承ヲ願ヒマス

○井上委員 極メテ簡單ニ御尋致サウ
ト思ヒマシタガ、ツイ長クナリマシテ
恐縮ニ思ヒマス、大體是デ私ノ質問ハ
終了致シマシタ

○横山委員 時間モ來マシタガ、今議
題ニナツテ居リマスル案ニ付テ建設局長
カラ御答ヲ得タイノガ唯一ツアルノデ
スガ、誰方カ代ッテ御答下サイマシテモ
宜シイノデアリマス、三次ト江津間ノ
鐵道ト、三次新見間ノ鐵道ノ兩面起工
ノ前提トシテ、三次庄原間ノ私設鐵道
ヲ買收スルト云フ志賀參與官ノ御答辯
ヲ得マシタノデアリマスガ、而シテ其
兩面起工ヲ爲サル年度ハ何時カラデア
リマスカ

○志賀政府委員 兩方共四年度カラデ
アリマス

○横山委員 四年度カラ御著手ニナリ
マス中間起工ニナリハシマセヌカ、
江津カラ三次迄ノ分モ中途マデハ出來
テ居リマスガ、全部ハ完成シテ居ラヌ、
新見三次間モサウデアツテ、其間ニハ廣
島カラ三次迄ノ藝備鐵道ト云フ私設鐵
道ガ連絡ヲ致シテ居リマスケレドモ、
他ニ幹線ハ繼續シテ居ラナイノデス
カ、ソレデモ御著手ニナル御考デス

○中村政府委員 一寸中途カラ伺ヒマ

シテ御答ハ少シ違フカモ知レマセヌ
ガ、江津三次、ソレカラ三次新見間ノ工
事ノ計畫ノ御尋ト拜承致シマスガ、從
來ノ計畫ハ江津三次線ハ江津方面カラ
著手シ、三次新見線ハ新見カラ著手ス
ルコトニナツテ居リマスガ、今回計畫ヲ
變更シマシテ、兩方面カラ兩線共兩端
起工ヲ致シマシテ、江津三次間ハ江津
カラ現在掛ッテ居ルガ、三次カラモ工事
ニ著手シヤウ、ソレカラ三次新見間ハ

○横山委員 兩面起工ノ前提トシテ三
次庄原間ヲ御買収ニナル位ナラバ、矢
張三次ト廣島間ヲ御買収ニナルコト
ガ一貫シタ御計畫トナツテ、結果ハ甚ダ
宜シイノデハナイノデスカ

新見カラ工事ニ掛ッテ居ル以外ニ、三次
方面カラモ工事ニ著手スルト云フ計畫
ヲ新ニ立テ、居リマス、ソレデ其工事
ヲ施行致シマスルニ付テ、三次方面ニ
於テハ藝備鐵道ト連絡ヲシナケレバナ
ラヌ、斯ウ云フコトニナリマシタ、ソレ
カラ三次カラ新見方面ニ參リマスモノ
ハ、若シ私設鐵道ヲ利用シナイトスレ
バ、別ノ線路ヲ拵ヘナケレバナラヌ、斯
ウ云フ結果ニナル、其聯絡ノ關係及二
重ニ敷クコトハ冗ダト云フ點カラ致シ
マシテ、三次江津間ノ起點ニナル附近
カラ新見ノ方ヘ行クノニ利用ノ出來ル
部分、其分ダケノ工事ニ著手スルト云
フコトニナツテ居リマス、後ハ廣島カラ
藝備鐵道ガ現ニ營業シテ居ル本線ヲ利
用スルコトニナツテ居リマス

○中村委員 藝備鐵道ノ廣島三次間ノ
買収ニ付キマシテハ、尙今後十分調査
シマシテ、之ヲ買収スルコトガ適當ナ
リヤ否ヤト云フコトヲ決定致シタイト
思ッテ居リマス、今後著手スル區間ニ於
キマシテハ、工事材料ト申シマシテモ
僅ニ「セメント」位デ、茲二年位ハ大シ
タ材料デモアリマセヌシ、外ニ鐵道買
收ノ話モ建設工事ノ關係カラ何モアリ
マセヌ

○横山委員 是マデノ御取扱振リニ依
リマス、總テ材料等ヲ無料輸送スル
ト云フ意味ニ於テ、國有鐵道ガ接續シ
テ居ル所デナケレバ起工ハシナカッタ
ヤウニ思フノデアリマスガ、今回其例
ヲ新ニ御開ニナル、斯ウ云フコトニナ
ルト承知致シマスガ、サウスレバ斯様
ナ例ハ單リ此三次方面ノミニ非ズシ
テ、今回御買収ニナリマシタ、鐵道ナド
ニ關係シテ、マダ他ニモ例ガアリマス
カ

○中村政府委員 今回買収致ス案ヲ出
シテ居リマス、鐵道ナドモ其例デ
アリマス、是ハ工事ニ著手シテ居リマシ
テ、鐵道ノ上鐵道ヲ利用シテ其材料ハ送ッ
テ居リマス、愈先ノ方ノ工事ガ進捗致
シマシテカラ買収致スコトニナツテ居

リマス、或ハ信濃鐵道ノ如キモサウデ
アリマス、是モ工事中ハ買収致シマセ
ヌデ、其鐵道ヲ利用シテ居リマス、今回
省ノ線路ガ敷ケマシテ今夏開業ガ出來
マスカラ、之ヲ一貫シテ政府ニ於テ經
營シテ然ルベシト云フコトカラ、此信
濃鐵道ヲ買収スルコトニナツテ居ル、
或ハ中國鐵道ノ如キモサウデアリマ
ス

○中村政府委員 其通りデアリマス
○井上委員 此遠美鐵道ト申シマス
ト、ソナ線ハナイト御叱リヲ蒙ルカ
モ知レマセヌガ、掛川カラ岐阜ノ大井
ニ至リマス線デアルガ、只今ノ計畫デ
ハ掛川カラ二俣迄來テ居ル、ソレカラ
遠信鐵道ノ辰野カラ飯田ヲ經テ遠州ノ
濱松ニ至ル線、此遠信鐵道トシマシテ
ハ今川合佐久間間ヲ三信鐵道ト云フ私
設鐵道會社ガヤッテ居ル、ソレカラ佐
久間カラ天龍峽迄、之ヲ三信鐵道ト云
ヒマスガ、ソレハ志賀參興官トハ質問應
答シマシタカラ是ハ繰返シマセヌガ、
一寸技術上伺ヒタイコトハ、彼處ニ御
承知ノ通り鹿嶋迄遠州電氣鐵道ノ電車
ガアル、此電車ハ矢張遠美線ノ一部ノ
掛川、二俣間ノ培養線、又二俣佐久間
ノ唯一ノ培養線デアル、此遠信電氣株
式會社ノ電車トドウ云フ風ニ結付ケル
デアリマセウカ

○中村政府委員 左様デアリマス

○中村政府委員 今回買収致ス案ヲ出
シテ居リマス、鐵道ナドモ其例デ
アリマス、是ハ工事ニ著手シテ居リマシ
テ、鐵道ノ上鐵道ヲ利用シテ其材料ハ送ッ
テ居リマス、愈先ノ方ノ工事ガ進捗致
シマシテカラ買収致スコトニナツテ居

○中村政府委員 兩備鐵道ノ方ハ二呎
六吋デアリマスカラ、是ハ買収シマシ
テ直ニ改築工事ニ着手致シマス、改築
工事ヲ終リマスレバ三呎六吋ニ直リマ
スガ、其直ル間營業ヲ休止スルト云フ
譯ニハ參リマセヌカラ、直シテ居ル間
ハ現狀ノ儘ニ運轉シテ行クヨリ仕方ガ
アリマセヌ、庄原三次間ノハ三呎六吋
ニ立派ニ出來上ッテ居ルノデアリマス
カラ、差當リ何等改築セズ運轉シテ差
支アリマセヌ

○中村政府委員 今建設計畫トシテ、
アノ附近ニ豫算ノ確定シテ居リマスル
ノハ掛川二俣、二俣佐久間間デアリマ
ス、其工事ノ計畫ハ掛川二俣間ノ線路
ハ、掛川カラ二俣ノ町ニ、彼處ノ川ヲ渡
リマシテ、遠州電氣ノ終點ニ結ビ、二俣
佐久間間ノ工事ハ、掛川二俣間ノ線路
二俣町ノ停車場カラ分岐致シマシテ、

○横山委員 サウ致シマス、今日政府
ノ御計畫デハ起工材料ナドハ藝備鐵道
ト云フ私設鐵道ヲ利用シテ運送スルコ
トニナツテ居リマス

○中村政府委員 今回買収致ス案ヲ出
シテ居リマス、鐵道ナドモ其例デ
アリマス、是ハ工事ニ著手シテ居リマシ
テ、鐵道ノ上鐵道ヲ利用シテ其材料ハ送ッ
テ居リマス、愈先ノ方ノ工事ガ進捗致
シマシテカラ買収致スコトニナツテ居

○中村政府委員 兩備鐵道ノ方ハ二呎
六吋デアリマスカラ、是ハ買収シマシ
テ直ニ改築工事ニ着手致シマス、改築
工事ヲ終リマスレバ三呎六吋ニ直リマ
スガ、其直ル間營業ヲ休止スルト云フ
譯ニハ參リマセヌカラ、直シテ居ル間
ハ現狀ノ儘ニ運轉シテ行クヨリ仕方ガ
アリマセヌ、庄原三次間ノハ三呎六吋
ニ立派ニ出來上ッテ居ルノデアリマス
カラ、差當リ何等改築セズ運轉シテ差
支アリマセヌ

○中村政府委員 今建設計畫トシテ、
アノ附近ニ豫算ノ確定シテ居リマスル
ノハ掛川二俣、二俣佐久間間デアリマ
ス、其工事ノ計畫ハ掛川二俣間ノ線路
ハ、掛川カラ二俣ノ町ニ、彼處ノ川ヲ渡
リマシテ、遠州電氣ノ終點ニ結ビ、二俣
佐久間間ノ工事ハ、掛川二俣間ノ線路
二俣町ノ停車場カラ分岐致シマシテ、

○中村政府委員 左様デアリマス

○中村政府委員 今回買収致ス案ヲ出
シテ居リマス、鐵道ナドモ其例デ
アリマス、是ハ工事ニ著手シテ居リマシ
テ、鐵道ノ上鐵道ヲ利用シテ其材料ハ送ッ
テ居リマス、愈先ノ方ノ工事ガ進捗致
シマシテカラ買収致スコトニナツテ居

○中村政府委員 兩備鐵道ノ方ハ二呎
六吋デアリマスカラ、是ハ買収シマシ
テ直ニ改築工事ニ着手致シマス、改築
工事ヲ終リマスレバ三呎六吋ニ直リマ
スガ、其直ル間營業ヲ休止スルト云フ
譯ニハ參リマセヌカラ、直シテ居ル間
ハ現狀ノ儘ニ運轉シテ行クヨリ仕方ガ
アリマセヌ、庄原三次間ノハ三呎六吋
ニ立派ニ出來上ッテ居ルノデアリマス
カラ、差當リ何等改築セズ運轉シテ差
支アリマセヌ

○中村政府委員 今建設計畫トシテ、
アノ附近ニ豫算ノ確定シテ居リマスル
ノハ掛川二俣、二俣佐久間間デアリマ
ス、其工事ノ計畫ハ掛川二俣間ノ線路
ハ、掛川カラ二俣ノ町ニ、彼處ノ川ヲ渡
リマシテ、遠州電氣ノ終點ニ結ビ、二俣
佐久間間ノ工事ハ、掛川二俣間ノ線路
二俣町ノ停車場カラ分岐致シマシテ、

佐久間ニ至ル線ヲ建設スル、斯ウ云フ
コトニナルノデアリマス、ソレデ連絡
スルコトニナリマス

○井上委員 掛川カラ二俣ニ至ル線
ハ、天龍川ヲ西ニ渡ルノデアリマスカ、
只今ノ御話ノ川ヲ渡ルト云フノハ……
○中村政府委員 今ノ會社線ノ終點ヲ
延長シテ、川ヲ渡ッテ二俣町ニ行クヤウ
ニ線路ヲ造ルノデアリマス

○若宮委員長 本日ハ是ニテ散會シ
テ、次回ハ明日午前十時ヨリ開キマス、
ドウカ御出席ヲ願ヒマス

午後零時二十八分散會

昭和四年三月十一日印刷

昭和四年三月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社